



図2 業務の流れとSCM支援システムの関係

4. SCM支援システムの構築

4.1 SCM支援システムの概要

消費地水産物流通における課題を踏まえ、需給バランス調整を主な目的としたSCM支援システムを提案する。業務の流れとSCM支援システムの関係を図2に示す。SCM支援システムは4つのシステムで構成される。

4.2 SCM支援システムの構成

(1) 仕入れ情報収集・配信システム

鮮魚専門店の仕入れ情報を収集し、業務系消費者に対して、これまでより早い時間で簡単に情報伝達を実現する。競りの前に販売実績を参照し、落札価格などの決定を支援する。

(2) 商品情報共有システム

厳選商品情報共有機能は、仲卸業者や鮮魚専門店が目利きにかなった厳選商品情報を登録し、業務系消費者に対してWebページで共有する。

入荷予定情報共有機能は、仲卸業者が販売実績と卸売業者から来る入荷予定に基づいて販売商品カタログを作成し、Webページで共有する。

(3) 販売促進支援システム

鮮魚専門店から一般消費者へWebページを用いて情報提供を行い、販売促進を支援する。通常業務の合間に情報を配信できるように配慮し、CMSとして構築する。

(4) 顧客管理システム

鮮魚専門店における顧客を一元管理し、リピーター確保を支援する。POSレジを利用して収集した売上情報と顧客情報を関連付けし、参照を可能にしている。収集したPOSデータを分析することで会員顧客の購買傾向を把握することができる。また、発送依頼を登録し、発送履歴として管理する。発送業務の支援としてラベルや注文承り書の作成を可能にしている。

4.3 システムの運用状況

岩手県盛岡市にある鮮魚専門店や業務系消費者、仲卸業者を対象に試行運用を行っている。SCM支援システムの運用状況を表1に示す。

表1 各システムの運用状況

システム名	検証期間	収集データ	運用・開発環境
仕入れ情報収集・配信システム	2010年11月～2011年3月	品名、産地、仕入れ単価、販売単価、仕入れ数量	Apache Tomcat 6.0 MySQL 5.1 Visual Basic 2008
商品情報共有システム	2013年3月導入予定	商品写真、コメント、販売価格、数量	Apache Tomcat 6.0 MySQL 5.1 Android SDK
販売促進支援システム	2010年11月～継続中	今月の特売予定、お知らせ、旬の水産物情報	Apache Tomcat 6.0 MySQL 5.1
顧客管理システム	2012年7月～継続中	顧客情報、依頼主情報、届け先情報、売上情報	Visual Basic 2008 Access 2010

5. おわりに

本研究は、消費地水産物流通における需給バランスの調整を目的にSCM支援システムを提案した。SCM支援システムは業者間の情報共有を促進し、消費者ニーズを吸い上げる仕組みからSCMの基盤となるのではないと思われる。

今後の研究課題としては、卸売業者を含めた消費地側全体で共通認識を持たせ、SCMに取り組んでいくことが必要である。

参考文献

[1] 平成23年度水産白書、水産庁
<http://www.jfa.maff.go.jp/>(2012年12月18日閲覧)
 [2] 婁小波：生鮮水産物流通システムの変化とサプライチェーンの構築、フードシステム研究, Vol. 16, No.2, pp59-73(2009)